

【2016年1月20日】

# 大使館からのお知らせ

## 【注意喚起1】中南米諸国におけるジカ熱の流行について

コスタリカ保健省は、中南米諸国におけるジカ熱の流行について、注意を呼びかけています。現在のところ、コスタリカ国内での感染例は確認されていませんが、コロンビア（11,000人）・ブラジル（3,500人）・エルサルバドル（3,836人）など中南米各国で感染が広がっています。

ジカ熱は、蚊に刺されることで感染します。症状は、発熱や発疹、筋肉痛などデング熱やチクングニア熱に似ています。妊婦が感染すると、胎児に小頭症発症等の影響が出るとみられており、コスタリカ保健省は、妊婦はジカ熱の流行がみられる国への渡航を避けるよう勧告しています。

ジカ熱は、デング熱やチクングニア熱と同様に予防ワクチンがありませんので、蚊が多い場所に行く際には肌の露出を控え、虫除けスプレー等を利用して蚊に刺されないよう注意してください。

## 【注意喚起2】強風による被害について

1月19日午前10時頃、グアダルーペにおいて、強風により店舗の看板が落ちて駐車していた車が損傷しました。また、同日午前8時30分にはアラフェラ市において、店舗の看板が斜め向かいの店舗まで吹き飛ばされました。このように、強風による被害が発生しておりますので、お出かけの際には、看板の落下や倒木などにご注意ください。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆  
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140  
E-mail:japon-consulado@sj.mofa.go.jp(大使館領事班)  
または eriko.nishida@mofa.go.jp(西田)まで